

④ ⑤自閉スペクトラム症 講師：岩永 竜一郎

<自閉スペクトラム症 (ASD: Autism Spectrum Disorder) の概要>

- ・社会的コミュニケーションおよび相互関係の障害
- ・限局された反復する様式の行動、興味、活動

⇒対人関係を問題にする症候群

<ASD 児の特性>

- ・人からの発せられる情報に注意を向ける事が苦手
- ・フォーカスの当て方が違う
- ・他の人の気持ちを読むことが苦手 (心の理論の障害)
- ・情報の統合化が困難
- ・興味、思考の偏り、こだわりがある
- ・不器用、疲れやすい

<ASD 児の対人関係の障害>

- ・他者と関係がとれない
- ・模倣の異常
- ・情緒的交流ができない
- ・対人的距離の苦手

⇒大人との関係は取れる事が多いが、同年齢児との友人関係を作る事が難しい

<こだわり・常同行動>

- ・特定の関心ごとに強く凝り固まる
- ・他の子どもが気に留めない事に固執する

- ・同じスケジュール、日程にこだわる
- ・同じ場所や衣服、食事へのこだわり

<認知能力のアンバランス>

- ・言語優位⇒空間構成や書字が苦手
- ・視覚認知優位⇒話す、聞く。文章を作るなどの学習に問題がやすい

<ASD の実行機能の問題>

- ・認知の柔軟性

漢字の書き順の修正を嫌がる

自分のやり方を曲げない

- ・注意の切り換え

靴の色⇒用途・形の切り換えができない、違う靴を嫌がる

<ASD に随伴しやすい問題>

- ・ASD 児の多くは ADHD の診断を満たす。
- ・感情コントロールや感覚刺激への過反応などみられることが多い。
- ・感覚情報の取捨選択や協調運動の問題も併発しやすい。

<ASD の対応>

・対応として薬物治療、学校における特別支援教育、ソーシャルスキルトレーニング、感覚統合アプローチなどあげられる。

- ・TEACCH プログラム、PECS、行動療法や応用行動分析など